

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
生活科学部	講師	水谷智彦	修士(教育学)

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) ICT等を活用した授業方法	平成27年4月より	パワーポイントおよびワードソフトを中心に作成した図表・グラフの使用、映像作品の検討、受講生自身に動画を検索してもらうなど、ICT機器を多く取り入れるとともに、それらを効果的に利用することで、受講生の関心を高め、理解の促進を図っている。
授業内アンケートを用いたアクティブ・ラーニング	平成27年4月より	受講生に対し現在の教育問題に対する認識や、自分が受けてきた教育の経験に対するアンケートを実施し、彼らの関心を捉えながら授業を行うことで、受講生の学習意欲や関心を高めている。
リアクションペーパーを用いたアクティブ・ラーニング	平成27年4月より	授業内容に対するリアクションペーパーを受講生に書いてもらい、優れた指摘やオリジナリティのある感想・疑問を紹介し、受講生のあいだで共有していくことで授業内容への理解が深まるようにしている。
レポートの個別添削及び指導	平成27年4月より	授業内に課したレポートに対する添削およびコメントを個別におこなうことで、基本的な文章作成のための指導をおこなっている。
ワークシート作成による予習・復習	平成27年4月より	授業で、学生が講義内容を書き込むための授業用プリントを作成している。このプリントには講義の主要なトピックについてのみ記載し、内容は学生自身が記入するようにし、授業の振り返りに使用するようになっている。
ワークショップ形式を用いたアクティブ・ラーニング	平成27年4月より	受講者がチームビルディングの技術を学べるよう、ワークショップ形式での授業をおこなった。グループワークを中心に、受講生の対話を促進する試みをおこなっている。
(2)作成した教科書・教材・参考書		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					

(論文)					
停学と退学の罰からみる日本近代学校秩序の創出と維持—明治期「学校管理法書」に着目して—	単著	令和3年6月	日本教育学会、『教育学研究』第88巻2号		pp.221-222
生徒集団を管理する罰の諸類型—「学校管理法書」中の罰の方法とその効果の分析から—	単著	令和2年3月	立教大学教育学科研究年報63号		pp.139-152
矯正すべき児童へのまなざし—大正期愛媛県内小学校「人別表」のテキストマイニングを用いた分析—	単著	平成31年4月	『学校的社会化の歴史と現在—「児童になる」とはどうか—』2018-22年度科学研究補助金基盤研究(B)課題番号:18H00990 研究代表者:北澤毅、2017-21年度科学研究費補助金基盤研究(C)課題番号:17K04712 研究代表者:有本真紀 研究成果報告書		pp.145-155
学校安全の現代的課題と教育実践に関する一考察—学校における防災教育の展開に着目して	単著	平成30年3月	尚綱子育て研究センター 児やらい第15巻		pp.36-46
児童の資質・能力に対する評価と進路希望の関連性—大正期・昭和初期山形県内小学校の「個性観察簿」の分析から—	単著	平成30年3月	立教大学大学院文学研究科教育学専攻、『立教大学大学院教育学研究集録』第15号		pp.147-170
大正期小学校の評価に影響を与えた社会的要因の探究—茨城県水海道地域の『個性調査簿』の計量分析	単著	平成29年3月	立教大学文学部教育学科研究室、『立教大学教育学科研究年報』第60号		pp.147-170
「生徒への罰からみる教師像の成立と変容—明治前期の『学校管理法書』に着目して—	単著	平成28年5月	日本教育社会学会、『教育社会学研究』第98集		pp.177-196
教師の懲戒権規定の歴史—生徒心得・罰則の変化に着目して	単著	平成27年3月	立教大学文学部教育学科研究室、『立教大学教育学科研究年報』第58号		pp.141-158
学校的処罰の形成—明治前期における生徒心得・罰則・学校管理法書に着目して	単著	平成26年3月	立教大学大学院文学研究科教育学専攻、『立教大学大学院教育学研究集録』第11号		pp.43-59
日本近代における家庭の学校化 II〈教育〉を志向する家族の形成—大正期茨城県水海道地域における『家庭調査』を手がかりに	単著	平成26年3月	立教大学文学部教育学科研究室、『立教大学教育学科研究年報』第57号		pp.27-47

『教師の懲戒権』確立の前史—規則適用における裁量権付与の過程	単著	平成25年3月	研究代表者:北澤毅、『学校の社会化の現状と歴史に関する研究:＜児童の成立＞の解明に向けて』2010～2012年度科学研究費補助金(基盤研究(C)研究成果報告書 課題番号22530930)		pp. 79-92
(その他)					
(学会発表)日本近代における生徒の懲戒方法論の形成過程—明治期の米国学校管理論の受容に焦点化して		令和3年9月11日	日本教育社会学会第73回大会発表(オンライン開催) 個人発表		
(学会発表)日本近代の教育と罰をめぐる歴史社会学研究の目的と意義		令和3年8月25日	日本教育学会第80回大会発表(オンライン開催) 個人発表		
(学会発表)校則がもつ意味とその社会的役割の考察—明治期の学校管理論に着目して—		令和2年9月5日	日本教育社会学会第72回大会発表(オンライン開催) 個人発表		
(学会発表)「生徒の懲戒方法の効果と意義に関する言説の歴史研究—明治期「学校管理法書」中の罰に着目して—		令和2年8月24日	日本教育学会第79回大会発表(オンライン開催) 個人発表		
(学会発表)訓練の記述からみる教師の児童観—大正期愛媛県内小学校「人別表」に着目して—		平成30年9月3日	日本教育社会学会第70回大会発表(佛教大学) 個人発表		
(学会発表)「個性調査」からみる評価とその社会的規定性—大正期山形県内小学校の「個性観察簿」の分析をとおして		平成29年10月21日	日本教育社会学会第69回大会発表(一橋大学) 個人発表		
(学会発表)学校的『罰』の成立過程—明治期の学校管理法書に着目して		平成27年9月10日	日本教育社会学会第67回大会発表(駒澤大学) 個人発表		
(学会発表)日本近代における家庭の学校化—家庭調査を中心に		平成25年9月21日	日本教育社会学会第65回大会発表(埼玉大学) 共同発表		
<b>Ⅲ 学会等及び社会における主な活動</b>					